



高大連携通信

センター長ご挨拶

リベラルアーツセンター センター長 築瀬 千詠



2023年度がスタートして2か月余りが経過しました。この間、新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられ、社会も教育現場も新たなフェーズに入りました。これを機に本学では、キャンパスレストランをリニューアルして座席数を倍増させました。ランチタイムが沈黙から楽しい語らいの場になり、サークル活動の制限もなくなり、湘北らしい日常を取り戻しつつあります。

本学では、2023年度より新たに「地域連携センター」を設立し、高大連携事業をはじめとした地域との連携をより一層強化することとしました。湘北は2024年に創立50年を迎えます。教育上の課題を皆さまと共有し、出張授業や教職員研修、保護者様向け勉強会など、コロナ禍で一時滞った教育交流の機会を復活・進化させ、「社会でほんとうに役立つ人材を育てる」教育理念の実現に向けて今後も努力してまいります。

2022年度高大連携連絡協議会・第20回教育研究会

2023年3月7日、2022年度高大連携連絡協議会および第20回教育研究会を開催しました。今回も対面とオンラインを併用した「ハイフレックス形式」で行いました。対面で12校、オンラインで5校の高校がご参加くださいました。前半の高大連携連絡協議会においては、築瀬センター長より今年度の事業報告および来年度の事業計画が説明され、質疑を経て承認されました。また、来年度新設される地域連携センターの紹介を加藤新センター長より行いました。その他、高大連携の在り方について、意見交換を行いました。後半は教育研究会を行い、今回は本学よりいくつかの取り組みを紹介しました。保育学科から「保育入門講座について」、「『特別企画親子で絵本を楽しもう』—おやこ図書館開設へ向けて」、生活プロデュース学科から「本学のSDGs教育について」をテーマに、高校生や地域に向けた新しい活動や教育について説明しました。その後質疑応答が行われ、会は盛況のうちに終了いたしました。



ご参加いただいた高校

ご来学：神奈川県立愛川高等学校、神奈川県立厚木北高等学校、神奈川県立厚木商業高等学校、神奈川県立厚木清南高等学校（全日制）、神奈川県立厚木東高等学校、神奈川県立有馬高等学校、神奈川県立座間高等学校、神奈川県立高浜高等学校、神奈川県立秦野総合高等学校、神奈川県立平塚農商高等学校、神奈川県立平塚湘風高等学校、神奈川県立藤沢清流高等学校

オンライン参加：神奈川県立伊勢原高等学校、神奈川県立小田原東高等学校、神奈川県立寒川高等学校、神奈川県立山北高等学校、神奈川県立吉田島高等学校

吉田島高等学校と「教育交流協定」を締結しました

かねてより出張授業等で交流がありました吉田島高等学校と、2022年12月8日（木）に「教育交流協定」を結びました。吉田島高等学校からは岩崎校長、中川副校長、尾尻教頭、宮本統括教諭にご出席いただき、本学からは高野瀬学長、加藤リベラルアーツセンター副センター長、北野課長補佐が出席し、調印式を執り行いました。

これにより本学と教育交流協定を結ぶ高等学校は30校となりました。



出張授業報告

2022年度後期の出張授業を紹介します。単発の授業だけでなく、同一科目で定期的に訪問し、授業を行うケースも出てきました。今後も、高大連携授業が高校のカリキュラムに組み込まれ、より幅広く深い教育活動のお手伝いができるようになります。

厚木商業高校

保育学科 准教授 小笠原 大輔

「幼児の運動と身体表現遊び」

選択科目「こどもの発達保育」を履修している3年生を対象に授業を行いました。スライドで動画を交えながらの説明や、様々な表現ワークの体験を通して、多様性を尊重することの大切さを実感していただきました。担当の先生や校長先生、副校長先生も加わりながらのワークは大いに盛り上がり、楽しいひとときとなりました。

アンケートのコメントより：「一つの運動や表現でも子どもたち一人一人によっていろんな表現やダンス、絵、みんな

の個性がたくさん出ることなんだと思いました。」「色々な考えがあるのっておもしろいものなんだなって思った。」「不正解はなくみんな違うけどそれは全部正解でというと考えは言われなければ気がつけなかった。」「大切な考えだと思いました。」

(2022年11月1日実施)



高浜高校

保育学科 教授 多胡綾花

「子どもの運動発達について」



1年生22名を対象に授業を行いました。誕生から歩行までの運動発達、子どもの運動能力低下の背景にあるあそびの消失、3つの「間」が足りないことなどに触れ、子どもたちの運動やあそびをどう支援するかを考えました。さらに手あそびやゲームなど、保育現場で行われるあそびを紹介し、実際に体験してもらいま

した。アンケートのコメントからは、「分かりやすくとても楽しい授業でした。」「大切なことはやっぱり楽しく遊ぶことだなと感じました。」「子どもが直立歩行できるようになるまでの成長過程を改めてみて、安全に成長を支えていくには保護者の協力が多く必要であると分かった。」など、楽しみながら気づきや学びにつながっていた様子が見られました。(2022年11月28日実施)

「子どもの可能性を広げる保育」

高校の先生からヒューマンサービスコース2年生を対象に「子どもの可能性を広げる保育」を知りたいと授業リクエストをいただきました。あゆみこ保育園での実践を紹介し、3年次の保育実習に向けて心構えや具体的な対応を伝えました。アンケートのコメントからは、「やってしまいがちな事

がたくさんあったから今日気づけて良かった。」「今回の授業をうけて実習が楽しみになった。」など、実習に向けて前向きにしっかりと学ぶ姿が見られました。(2023年2月6日実施)



小田原東高校

生活プロデュース学科 准教授 築瀬千詠

「SDGsの視点で社会課題を考えよう」

1年生全員を対象に、SDGsの基本的な知識を概観した後、私たち一人ひとりの生活や行動が17の目標達成にどのように結びついているのか、国連 WFP の動画や、湘北の授業でも使用しているスライドを使って説明しました。受講後アンケートでは、「今、自分に何が出来るかを考えて行動したいと思った」「SDGsは小学校の時から習ってきたけれど、17の目標が相互に関連していることが今回初めて分かった」「社会の課題がどんどん増えていくので解決が難しいと思った」などの感想が寄せられました。2年生以降の学びやキャリアデザインに繋がるのが期待されます。(2023年3月13日実施)

入学前授業「湘北スタートアップセミナー」

昨年新規開講し、コロナ禍下の制限のもと、全面オンラインで1日の「特別講義」のみ実施した「湘北スタートアップセミナー」でしたが、今回は3日間対面式で授業を行いました。

1日目は、多方面で活躍されているコミュニケーションディレクター熊野森人先生による特別講義「大学からはじめるじぶん編集」。大学入学前に学ぶからこそ価値がある、熊野先生からの様々な問いとグループワークを通じ、何のために大学で勉強するのか、なぜ攻めのコミュニケーションが大切なのか、解像度を上げるためにはどうすればよいかを考えました。

2日目は、「大学の授業で使うICT」です。本学PC教室のノートPCを一人1台ずつ使いながら、湘北ポータルの使い方や、メール、eラーニング、Zoomのしくみと使い方など、入学前に知っておきたいICTスキルを学びました。

3日目は「SDGsを通して世界を知る」をテーマに、湘北が力を入れているSDGs教育の入門編として、「SDGs新聞ワーク」やカードゲーム「2030SDGs」ワークショップ、「私のSDGs宣言」など盛りだくさんのメニューを体験しました。最初は初対面で緊張していた高校生たちでしたが、2年生のSA(Student Assistant)のサポートもあり、次第に打ち解け、笑顔で楽しく協力して取り組む様子が見られました。(2023年2月～3月)



湘北短期大学リベラルアーツセンター

(担当:菅野・川原・熊谷)

〒243-8501 神奈川県厚木市温水 428
TEL:046-247-3131 / FAX:046-247-3667
E-mail: LAC@shohoku.ac.jp
URL: <http://scopp.shohoku.ac.jp/>
Twitter: https://twitter.com/shohoku_lac



湘北
ナビットくん

高大連携通信 Vol.24

発行日:2023年6月15日

発行元:湘北短期大学
リベラルアーツセンター